

2002年第46週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾病集計表
- 疾病別グラフ(四類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
 - 感染性胃腸炎 -
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 保健所別定点当たり累計表

感染症豆知識

- オウム病

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



(全数情報)

- ・細菌性赤痢が1件報告された。ソネ菌(推定感染地:エジプト)である。
- ・アメーバ赤痢が2件報告された。推定感染地は国内1件、不明1件で、推定感染経路は同性間性的接触である。
- ・オウム病が1件報告された。国内感染が推定されており、鳥などの媒介動物との接触は確認されていない。
- ・急性ウイルス性肝炎が2件報告された。A型1件(経口感染)、B型1件(不明)で、推定感染地は国内1件、アルメニア1件である。
- ・Q熱が2件報告された。どちらも血清学的検査で診断された。2件とも動物(犬、猫)との接触があった。
- ・HIV感染症が2件報告された。AIDS1件、無症候性キャリア1件で、推定感染経路は異性間性的接触1件、両性間性的接触1件である。
- ・ジアルジア症が1件報告された。国内感染が推定されており、感染原因は不明である。
- ・マラリアが2件報告された。三日熱マラリア1件、熱帯熱マラリア1件で、推定感染地はパプアニューギニアである。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点情報)

- ・感染性胃腸炎が増加している。
- ・水痘が増加している。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加している。

(病原体情報)

- ・上気道炎1名および気管支炎1名の咽頭拭い液よりアデノウイルス2型が分離された。
- ・肺炎1名の咽頭拭い液よりアデノウイルス3型が分離された。
- ・敗血症疑い1名の咽頭拭い液及びふん便よりアデノウイルス3型が分離された。
- ・胃腸炎集団発生の5事例において、患者25名及び非発症者8名からNLV(SRSV)が検出された。
- ・菌株で搬入されたMRSA4株のコアグラーゼ型は全て 型であった。
- ・梅毒特異抗体が77検体中2件、クラミジア・トラコマチス特異抗体が107検体中26件、クラミジア・トラコマチス遺伝子が6検体中2件、淋菌遺伝子が73検体中1件検出された。梅毒特異抗体が陽性だった2件及び淋菌遺伝子が陽性だった1件はともにクラミジア・トラコマチス特異抗体が陽性であった。

・定点から搬入された頸管拭い液 10 検体中 6 件からパピローマウイルスの遺伝子が検出された。

(その他の情報)

・気管支炎、上気道炎等から R S ウイルス、アデノウイルス、エンテロウイルスが検出されているが、インフルエンザウイルスは検出されていない。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

千代田

・近隣の保育園にて、下痢、嘔吐症多発。

世田谷

・12歳麻疹の子はワクチン済み(1歳時)。

町田

・流行性嘔吐症が出てきました。

多摩東村山

・胃腸炎の患者が増えて来ました。

全数届出患者数一覧表 2002年46週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クミア・コンゴ出血熱							
	ペスト							
	マ・ルブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	コレラ					14		49
	細菌性赤痢	4	4	2	1	98	9	636
	腸チフス					22	1	58
	パラチフス	1				11		30
	急性灰白髄炎							
	ジフテリア							
三類	腸管出血性大腸菌感染症	4	3	1		177	22	3022
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢	2	2	2	2	112	2	400
	エキノкокクス症							8
	黄熱							
	オウム病		1		1	5		56
	回帰熱							
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	2	2	2	2	153	6	843
	Q熱				2	30		39
	狂犬病							
	クリプトスポリジウム症					4		107
	クロイツフェルト・ヤコブ病					8	2	115
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					9	1	77
	後天性免疫不全症候群	15	8	7	2	336	4	802
	コクシジオイデス症							3
	ジアルジア症	1			1	44		99
	腎症候性出血熱							
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		6
	先天性風疹症候群							
	炭疽							
	ツツガムシ病					6	16	204
	デング熱					14		46
	日本紅斑熱							31
	日本脳炎							6
	乳児ボツリヌス症							
	梅毒	1	1			53	4	499
	破傷風					6	2	92
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					7	1	39
	ハンタウイルス肺症候群							
Bウイルス病								
ブルセラ症					1		1	
発疹チフス								
マラリア	1			2	28	1	75	
ライム病					2		14	
レジオネラ症	3		1		19	1	153	
ウエストナイル熱								

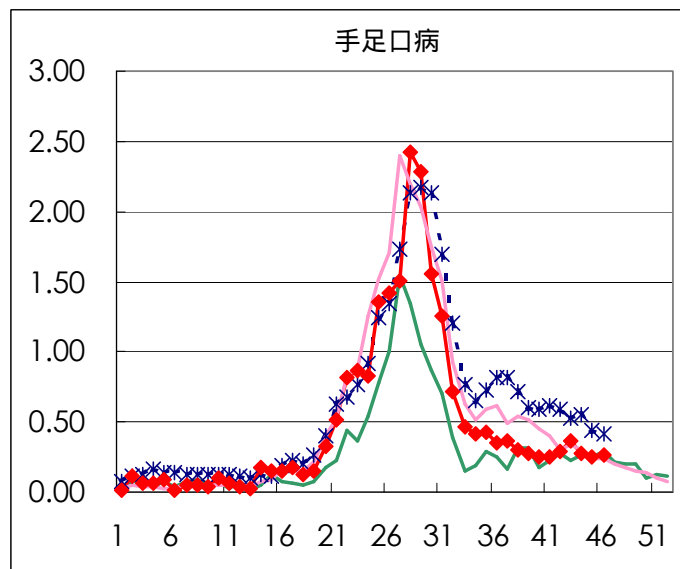
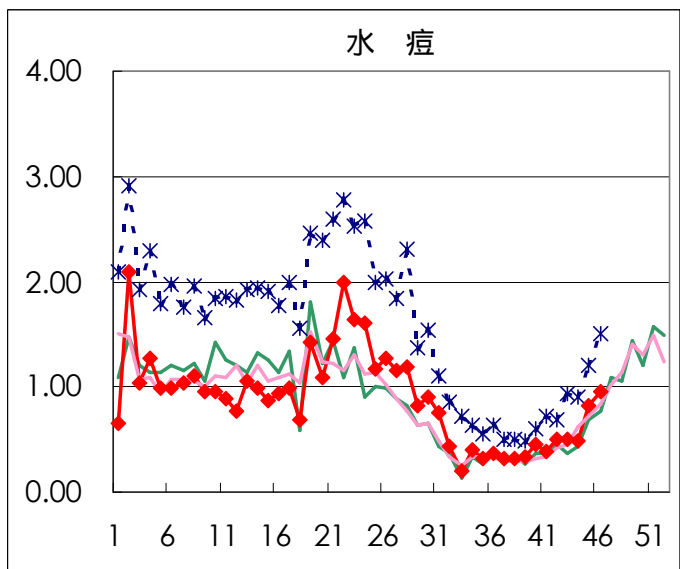
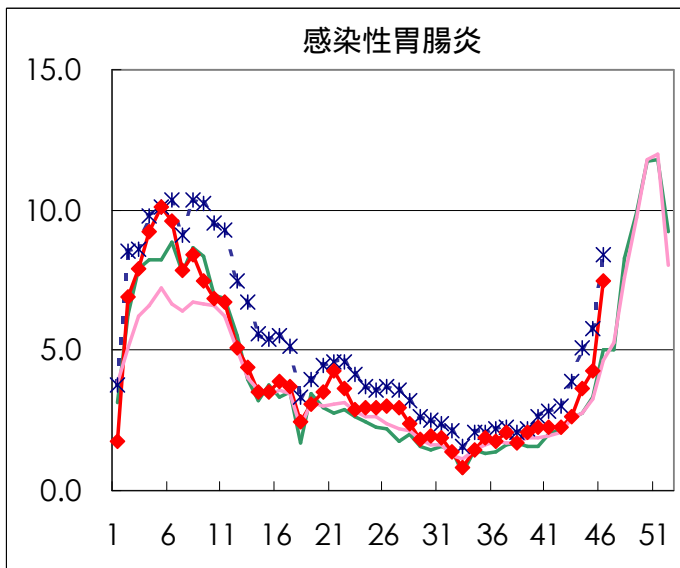
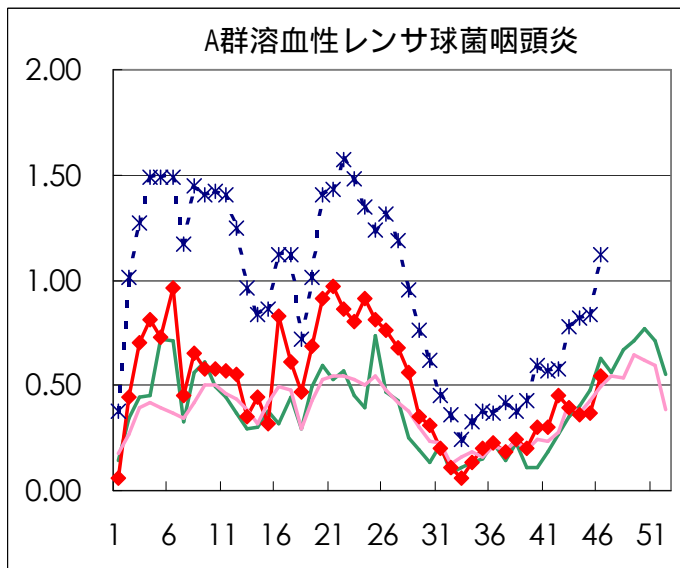
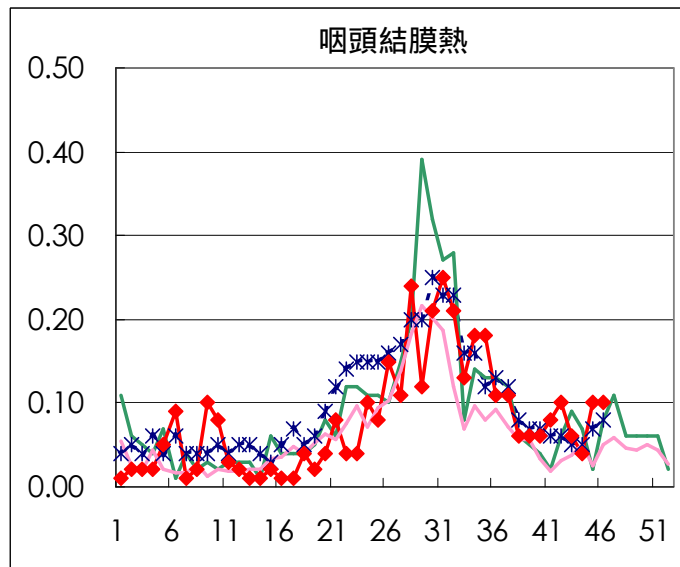
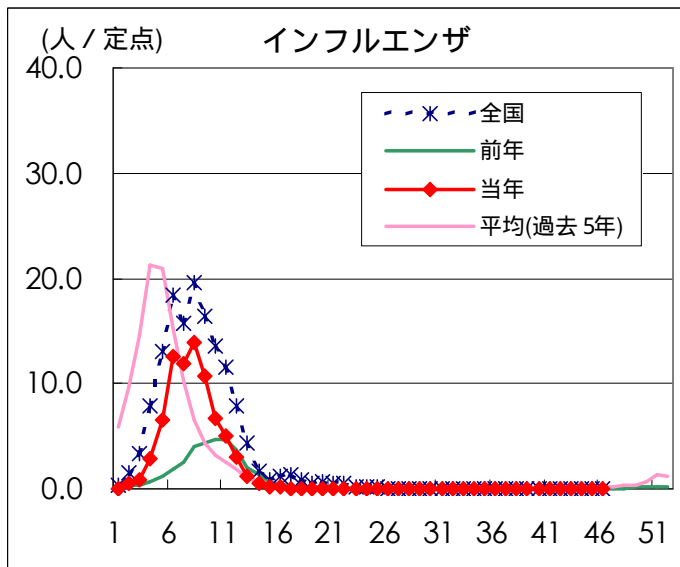
医師からの追加届出により増加することがあります(2002/11/20集計)。

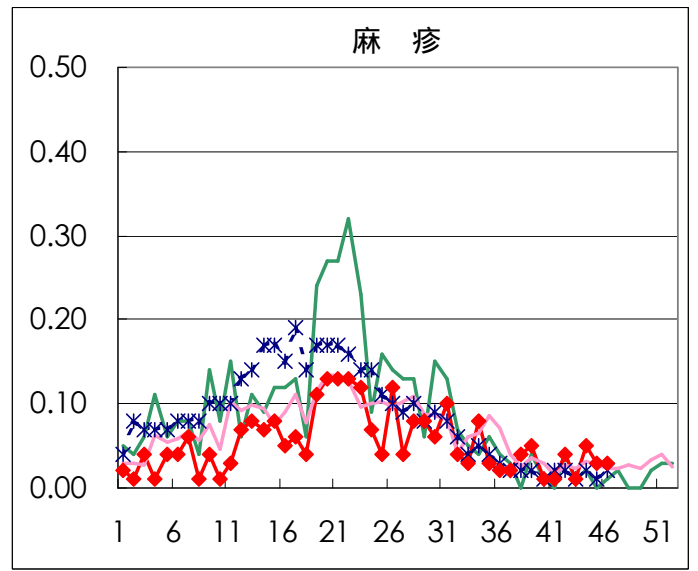
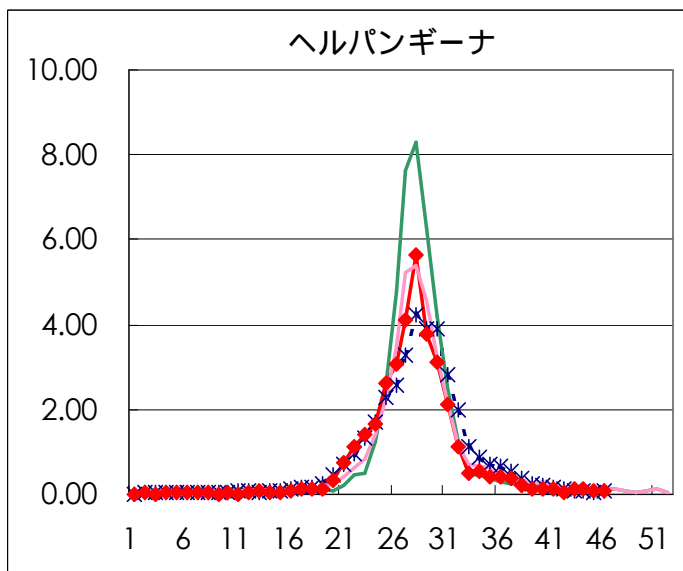
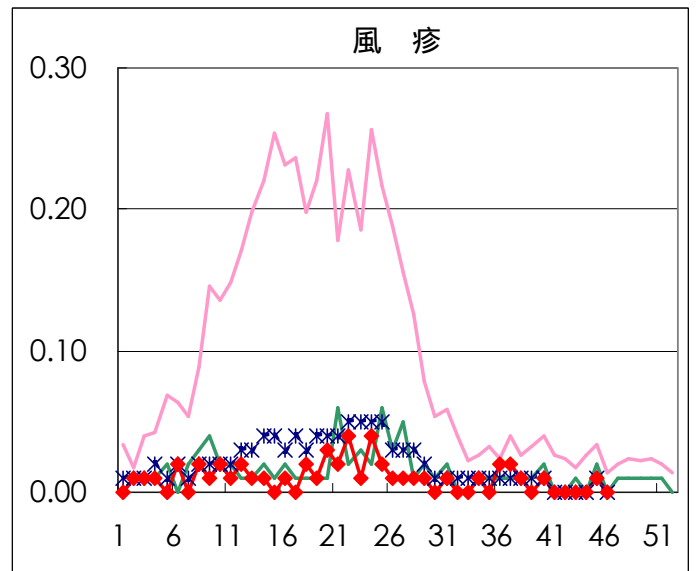
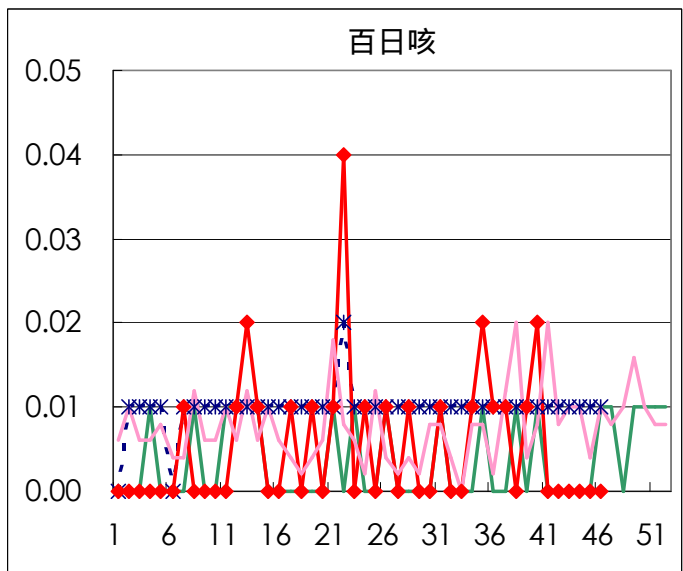
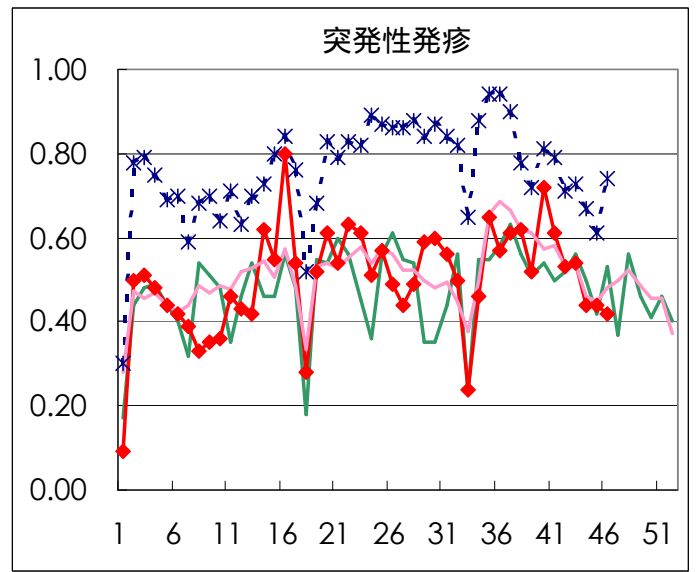
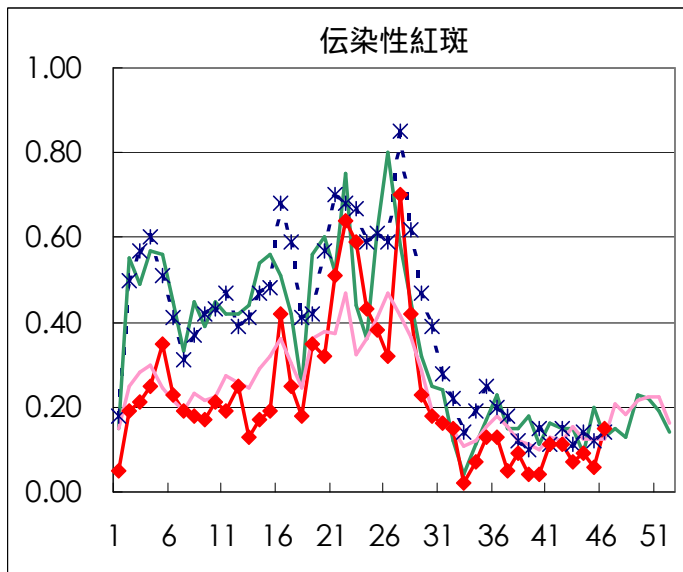
定点報告疾病集計表（男女別）

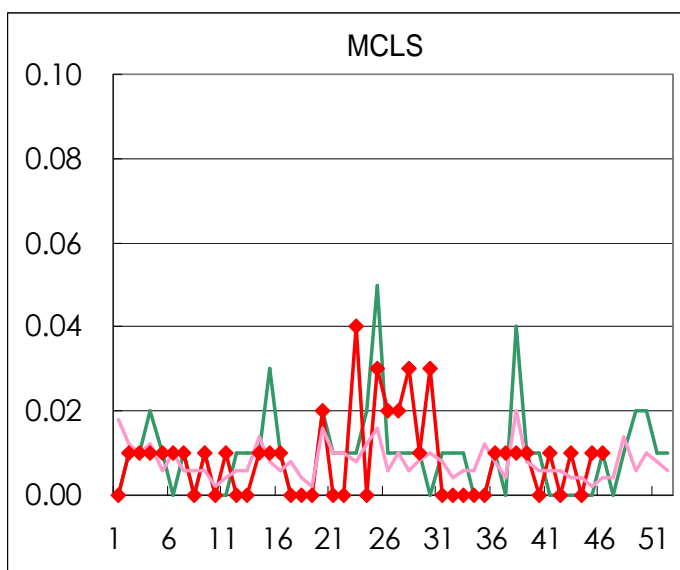
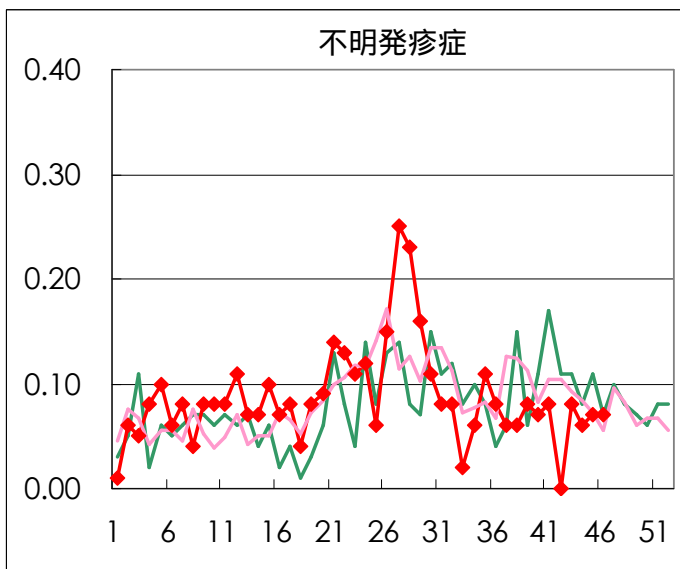
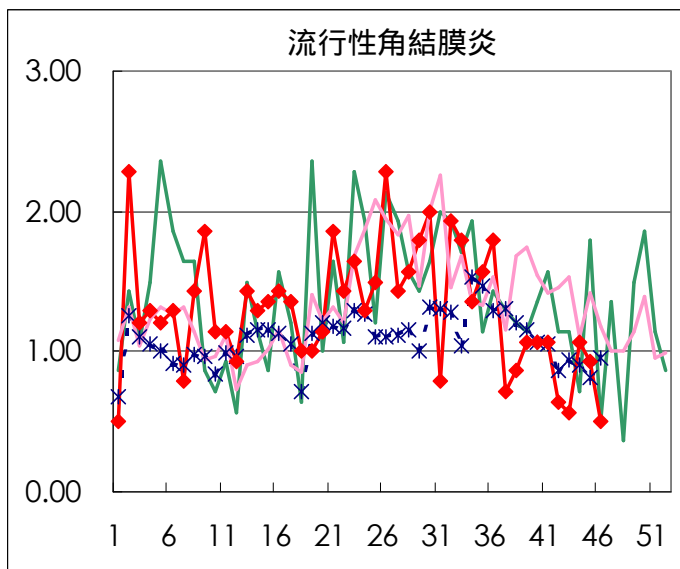
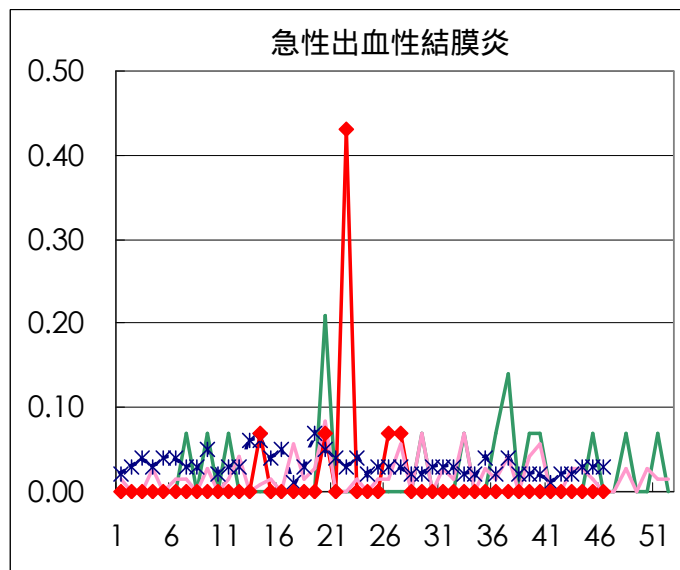
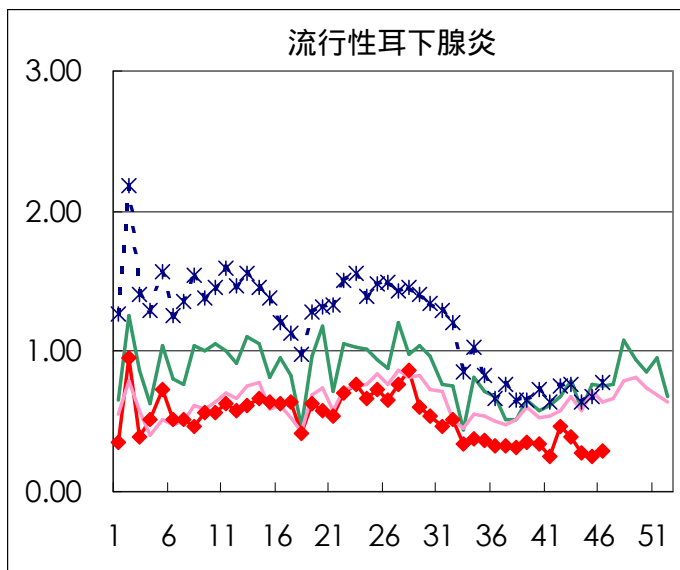
疾病名	性	2002年 週				累計
		43	44	45	46	
インフルエンザ	男		2	3	2	7
	女	1				1
咽頭結膜熱	男	5	2	7	10	24
	女	4	3	7	4	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	28	30	31	45	134
	女	27	21	22	31	101
感染性胃腸炎	男	196	276	324	522	1318
	女	182	238	278	534	1232
水痘	男	37	45	69	59	210
	女	36	23	47	76	182
手足口病	男	34	25	18	21	98
	女	18	14	18	16	66
伝染性紅斑	男	1	8	2	9	20
	女	9	5	6	12	32
突発性発疹	男	33	33	37	25	128
	女	43	29	26	35	133
百日咳	男					
	女					
風疹	男					
	女			1		1
ヘルパンギーナ	男	14	12	7	10	43
	女	5	8	5	3	21
麻疹(成人以外)	男	1	4	3	2	10
	女		3	1	2	6
流行性耳下腺炎	男	27	18	20	23	88
	女	29	20	16	18	83
不明発疹症	男	4	5	5	3	17
	女	8	4	5	7	24
MCL S	男			1	2	3
	女	2				2
急性出血性結膜炎	男					
	女					
流行性角結膜炎	男	5	15	7	5	32
	女	3		6	2	11
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男		1		1	2
	女				1	1
無菌性髄膜炎	男		1			1
	女	1				1
マイコプラズマ肺炎	男	2	3	3	4	12
	女	7	1	10	6	24
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男	1		2	1	4
	女	1	3		1	5

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

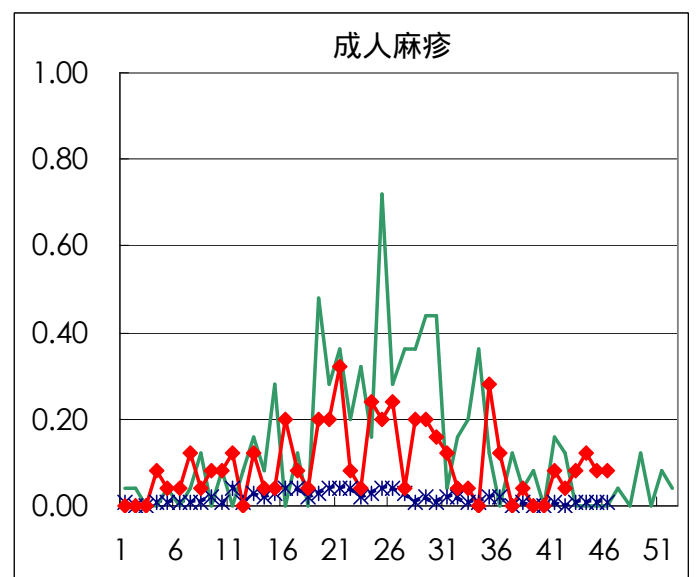
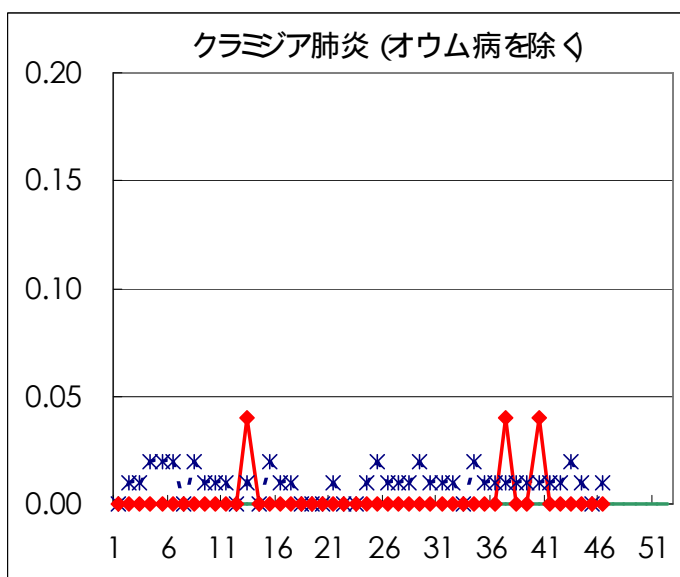
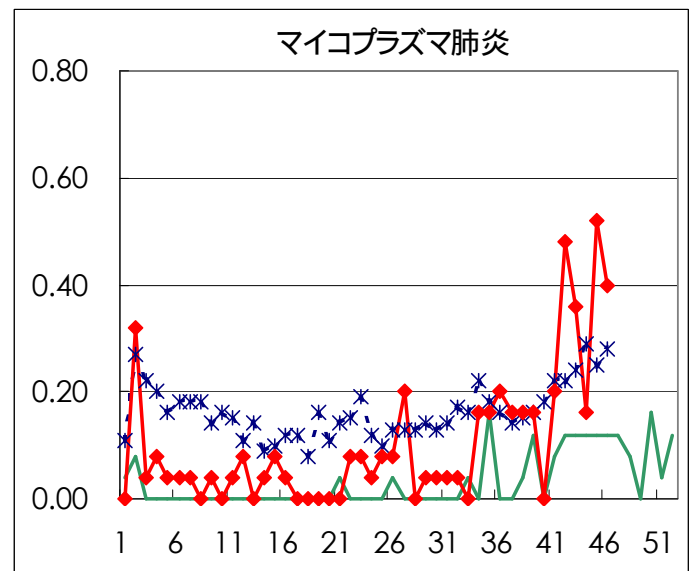
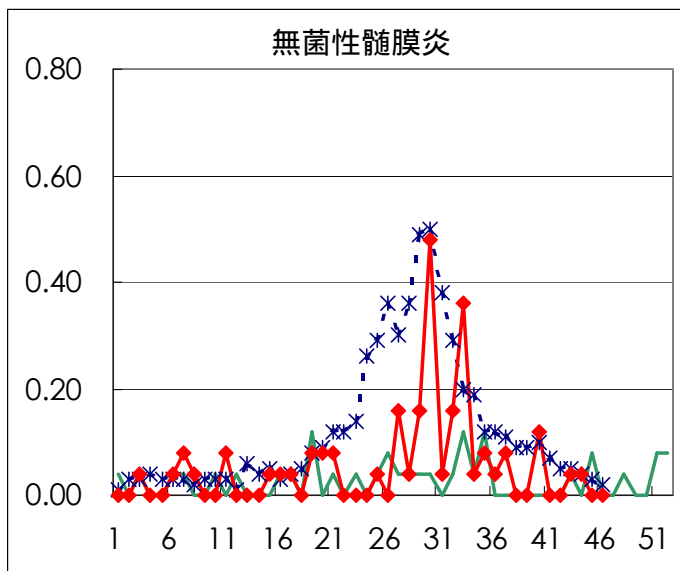
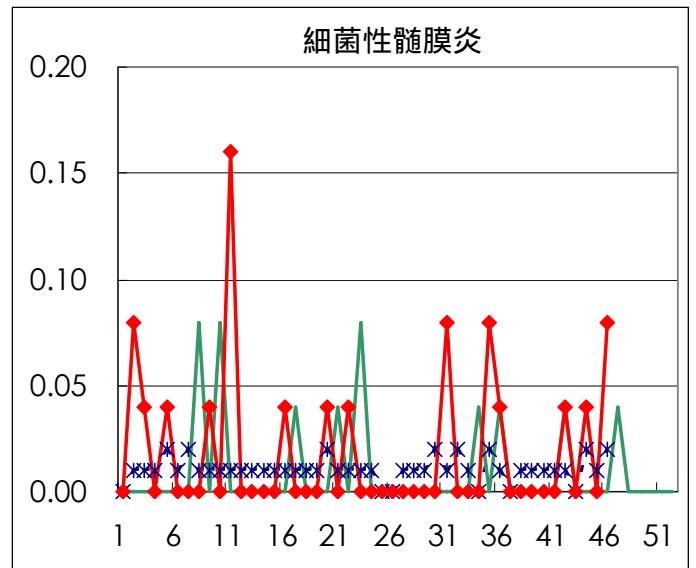
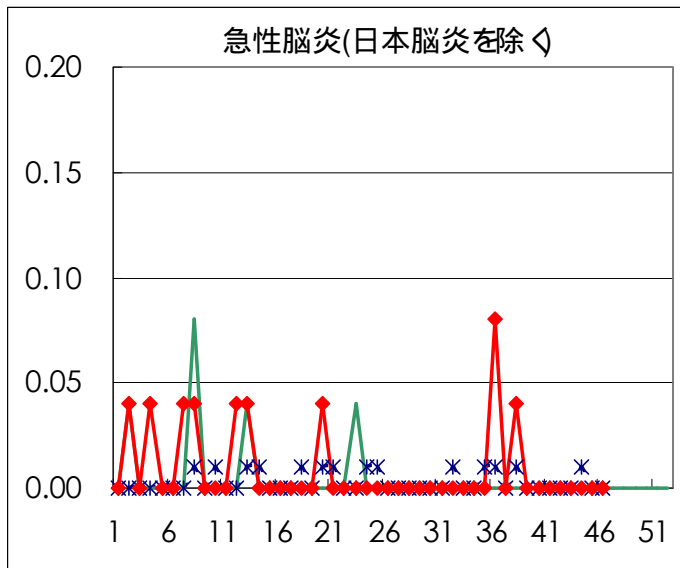
疾病別グラフ (四類定点週報告分)







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	25
急性脳炎	
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	
上記を除く疾病	142



病原体検出情報

週別病原体 抗体検出結果 (2002年 39~ 46週)

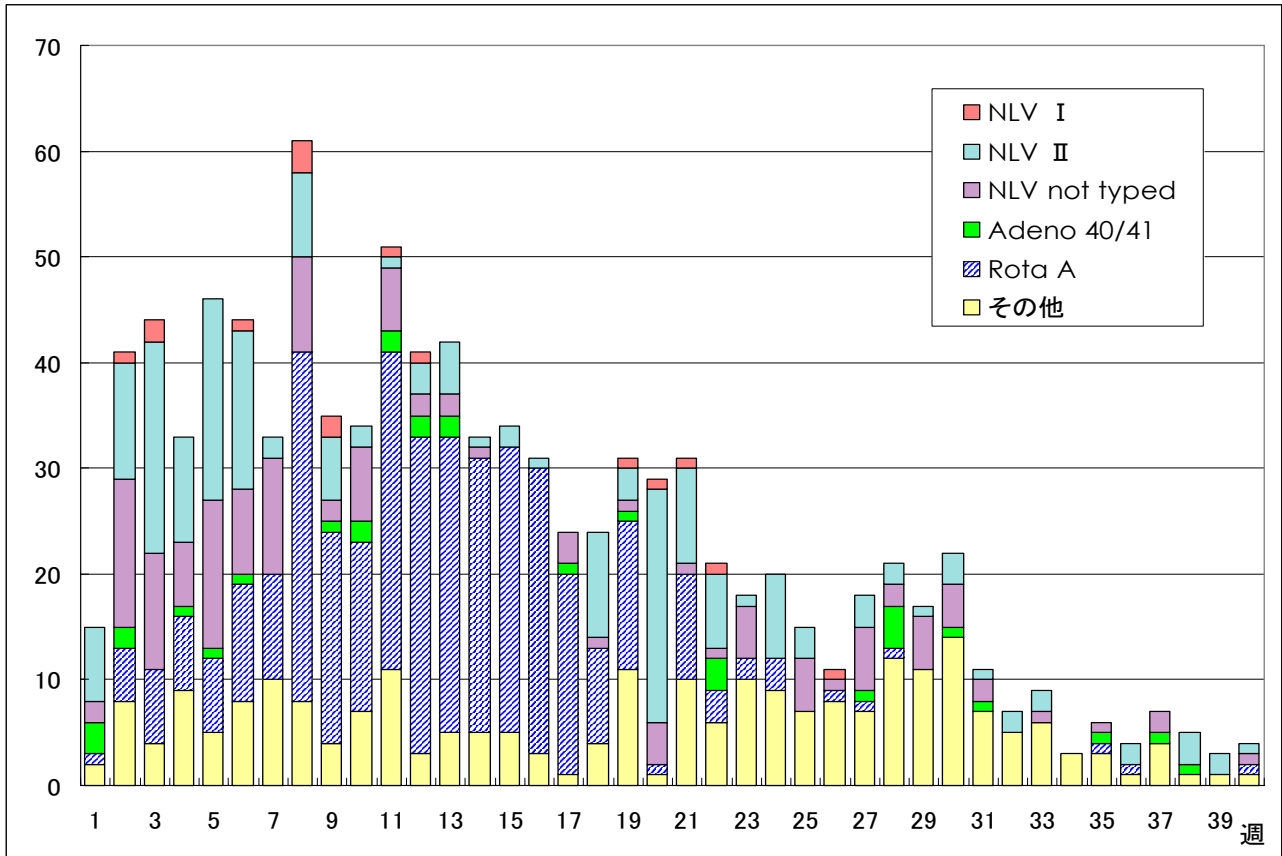
検出病原体 抗体		検体採取週								合計	
		2002年									
		39	40	41	42	43	44	45	46		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型										
	インフルエンザB型										
	RSV	1				4	4		2	11	
	アデノ	2	4	1	6	2	3	5	2	25	
	エンテロ	2	5	7	3	3	8		5	33	
	SRSV=NLV		1	1	25	1	18	24	43	113	
	ロタ			1						1	
	単純ヘルペス			1	1		1		1	4	
	水痘 帯状疱疹	1		1						2	
	EBV					1				1	
	CMV	1					2			3	
	HHV6/7	1				1	2		2	6	
	ムンプス										
	麻疹	1								1	
	パルボB19										
	分離型別	ポリオ1									
		ポリオ2									
		アデノ1		2							2
		アデノ2				3	1	1			5
		アデノ3		1		4	4				9
		エコー13			1						1
		コクサッキー-A6									
抗体	デング								1	1	
	ツツガムシ										
電顕											
細菌	カンピロバクター							2		2	
	サルモネラ										
	下痢原性大腸菌										
	エロモナス										
	O157										
	MRSAコアグラウゼ 型	1	1	3		1		1		7	
	MRSAコアグラウゼ 型	4	5	2	3	2	4	7	4	31	
	MRSAコアグラウゼ 型										
	MSSAコアグラウゼ 型										
	溶連菌 T-1型										
	溶連菌 T-3型				1			1		2	
	溶連菌 T-4型							1		1	
	溶連菌 T-6型										
	溶連菌 T-12型			1	1		1			3	
	溶連菌 T-22型										
	溶連菌 T-25型										
	溶連菌 T-28型		1							1	
溶連菌 UT		1							1		
性感染症	梅毒	2		4	1				2	9	
	クラミジア抗体	16	15	28	11	20	25	12	26	153	
	クラミジア遺伝子			2		2	2	1	2	9	
	淋菌遺伝子						2	1	1	4	
	パピローマ	1	4		4	7	3	3	6	28	

臨床診断名別病原体検出結果 (2002年 39~ 46週)

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (脳炎を 含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型																	
インフルエンザB型																	
RSV		1	6													4	11
アデノ		3	12			3										7	25
アデノ1						2											2
アデノ2		1	2													2	5
アデノ3		1	3				1									4	9
エンテロ		4	9				7		1		3	1				8	33
エコー 13							1										1
コクサッキー A6																	
ポリオ 1																	
ポリオ 2																	
ムンプス																	
SRSV = NLV						113											113
ロタ						1											1
単純ヘルペス			1						1							2	4
水痘 帯状疱疹							1				1						2
パルボ B 19																	
カンピロバクター						2											2
サルモネラ																	
下痢原性大腸菌																	

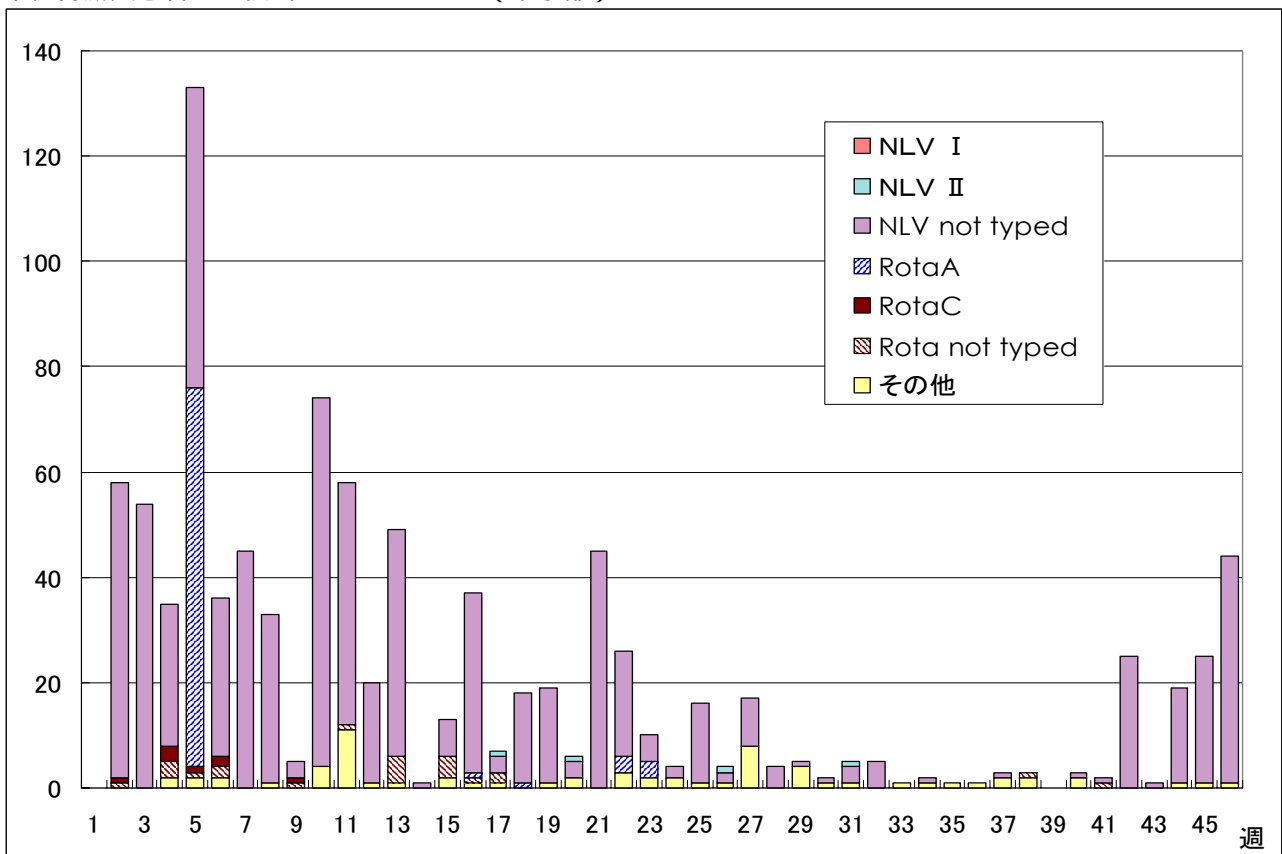
病原体グラフ (感染性胃腸炎)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス (全国)



LASR 病原微生物検出情報 (2002年10月25日現在報告数)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス (東京都)



ウイルス研究科 (集団発生を含む)
(注) NLV: Norwalk-like virus (SRSV)

年齢階級別累計表 (2002年 46週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～ 6ヶ月				14	5		1	5									
～ 1歳			1	54	9	2	2	32								1	
1歳			1	163	33	8	5	20			3		1			2	1
2歳		5	5	145	23	6	2	3			1		1			2	1
3歳		2	5	116	17	1	2				1	1	4			1	
4歳		4	8	103	20	6	2						9			2	
5歳			13	71	14	5	3						5				
6歳		1	15	56	4	3	1				1		9				
7歳		1	10	48	3	2	1						5				
8歳		1	6	35	2	3	1						2			1	
9歳			5	21			1				1	1	2				
10～14歳			3	54	1							2	3			1	
15～19歳				34	2												
20～29歳			4	142	2	1					6				3		
30～39歳	2														1		
40～49歳															1		
50～59歳															1		
60～69歳																	
70～79歳															1		
80歳以上																	
合計	2	14	76	1056	135	37	21	60	0	0	13	4	41	0	7	10	2
先週比	-1	0	23	454	19	1	13	-3	0	-1	1	0	5	0	-6	0	1

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2002年 46週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田				12									1					13
中央区			3	26	6	1		4								2		42
みなと		3		13	1	1		1										19
新宿区			1	46	2		1	3					1			1		55
文京			1	18	3		1						3		5			31
台東			1	45	2	1		1										50
墨田区			4	30				1					1					36
江東区		1	6	22	5								2		1			37
品川区			2	76	3			7										88
目黒区			2	9	1	1		4			1					1		19
大田区		1	11	55	4	1	3	5										80
世田谷区		4	2	75	9		2	1				1	3			2		99
渋谷区		2	1	64	8	1												76
中野区			2	54	1			4										61
杉並				40	2			2										44
池袋			1	4	1										1			7
長崎			2	2				2										6
北区			4	42	5	2	1	1					3					58
荒川区			1	8								3	1			1		14
板橋区				16	3													19
練馬区	2		1	28	14			2					3					50
足立			3	25	5								1					34
葛飾			7	33	7	3	5	3			3		3				1	65
江戸川		1	5	55	3	1		2					2					69

保健所別累計表 (2002年 46週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
多摩川			1	18	7		1						4					31
秋川			2	20									2					24
八王子				11	10	1		3					4					29
南多摩		1	1	33			4	2			9							50
町田			2	43	6	6		1					4			1	1	64
多摩立川			3	7	4	1							2					17
村山大和			1	10	4			1										16
府中小金井				2	1													3
狛江調布				19	4		1	4										28
三鷹武蔵野			2	34	7			2										45
多摩小平				18	2		2	1										23
多摩東村山			4	43	5			3					1			2		58
島しょ		1				17												18

東京都合計	2	14	76	1056	135	37	21	60	-	-	13	4	41	-	7	10	2	1478
定点当り報告数	0.01	0.10	0.54	7.44	0.95	0.26	0.15	0.42	-	-	0.09	0.03	0.29	-	0.50	0.07	0.01	

保健所別累計表 (定点当り) 2002年 46週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田				3.00									0.25				
中央区			1.00	8.67	2.00	0.33		1.33								0.67	
みなと		0.50		2.17	0.17	0.17		0.17									
新宿区			0.17	7.67	0.33		0.17	0.50					0.17			0.17	
文京			0.33	6.00	1.00		0.33						1.00		5.00		
台東			0.33	15.00	0.67	0.33		0.33									
墨田区			1.33	10.00				0.33					0.33				
江東区		0.33	2.00	7.33	1.67								0.67		1.00		
品川区			0.33	12.67	0.50			1.17									
目黒区			0.67	3.00	0.33	0.33		1.33			0.33					0.33	
大田区		0.11	1.22	6.11	0.44	0.11	0.33	0.56									
世田谷区		0.50	0.25	9.38	1.13		0.25	0.13				0.13	0.38			0.25	
渋谷区		0.50	0.25	16.00	2.00	0.25											
中野区			0.33	9.00	0.17			0.67									
杉並				6.67	0.33			0.33									
池袋			0.25	1.00	0.25										1.00		
長崎			2.00	2.00				2.00									
北区			1.00	10.50	1.25	0.50	0.25	0.25					0.75				
荒川区			0.50	4.00								1.50	0.50			0.50	
板橋区				2.67	0.50												
練馬区	0.33		0.20	5.60	2.80			0.40					0.60				
足立			0.75	6.25	1.25								0.25				
葛飾			1.75	8.25	1.75	0.75	1.25	0.75			0.75		0.75				0.25
江戸川		0.25	1.25	13.75	0.75	0.25		0.50					0.50				

保健所別累計表 (定点当り) 2002年 46週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
多摩川			0.33	6.00	2.33		0.33						1.33				
秋川			1.00	10.00									1.00				
八王子				5.50	5.00	0.50		1.50					2.00				
南多摩		0.33	0.33	11.00			1.33	0.67			3.00						
町田			1.00	21.50	3.00	3.00		0.50					2.00			0.50	0.50
多摩立川			0.75	1.75	1.00	0.25							0.50				
村山大和			0.50	5.00	2.00			0.50									
府中小金井				0.67	0.33												
狛江調布				6.33	1.33		0.33	1.33									
三鷹武蔵野			0.50	8.50	1.75			0.50									
多摩小平				6.00	0.67		0.67	0.33									
多摩東村山			1.33	14.33	1.67			1.00					0.33			0.67	
島しょ		1.00				17.00											

東京都合計	2	14	76	1056	135	37	21	60	-	-	13	4	41	-	7	10	2
定点当り報告数	0.01	0.10	0.54	7.44	0.95	0.26	0.15	0.42	-	-	0.09	0.03	0.29	-	0.50	0.07	0.01

< 感染症豆知識 >

オウム病

東京都医師会感染症予防検討委員会

オウム病は、感染鳥の排泄物の中のオウム病クラミジア (*Chlamydia psittaci*) を吸入して感染することが多いが、口移しの給餌による経口感染もある。高熱、咳嗽、頭痛、倦怠感、肺炎、更には髄膜炎や多臓器不全、DIC(播種性血管内凝固症候群)、ショック症状がみられ、まれには死亡例もみられるため、オウム病が疑われたらすぐ抗菌薬投与を開始する。第一選択薬は、テトラサイクリン系で、マクロライド系、ニューキノロン系がこれに次ぐ。β-ラクタム系、アミノ配糖体は無効である。マイコプラズマや *C. pneumoniae* による肺炎との鑑別には、特に鳥との接触歴が重要である。感染症法では、全数把握の4類感染症とされ、1999年(4~12月)23例、2000年18例、2001年36例、2002年は、8月28日現在、45例が報告されている。1999~2001年は、5~6月の鳥の繁殖期に多い傾向がみられた。患者は男51例、女71例で、50代をピークに幅広い年齢の成人が多い。感染源として推定された鳥種の70%はインコ類であった。補体結合反応(オウム病CF)による血清診断による報告が多いが、確定診断は、micro-IFなどを地方衛生研究所や国立感染症研究所に依頼する必要がある。

2001年6月には、神奈川県動物園でシベリアヘラジカの分娩介助をした5人の職員が *C. psittaci* に感染した。2001年11~12月に、鳥根県の鳥類展示施設を訪れた人12人と、同施設の職員等5人がオウム病に罹患し、その他8人の職員の感染(インフルエンザ様症状2人、無症状6人)が判明した。

(文責：山下和予)